

















様へ

月日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日	当日(術前)	当日(術後)
目標	○心身ともに安定した状態で手術を受けることができる		○麻酔合併症(出血、感染)がない
検査	身長・体重測定 採血		採血 レントゲン撮影
食事	夕食後絶食、21時以後絶飲食 経口補水液は、麻酔科の指示で服用		絶飲食
	朝食は 自宅で		
処置・観察	リストバンドを装着します (退院日まで)	点滴の針を留置します	手術後以下の挿入物、 装着物があります
	弾性ストッキングのサイズ を測定し、お渡しします	朝 浣腸します	・酸素マスク → 取り外します
	手術部位にマーキング を行います	時間になれば看護師が 手術室にご案内します	・心電図モニター →
			・点滴の管 →
			・背中のチューブ(鎮痛剤)
			・創部の管(ドレーン) →
			・尿道カテーテル →
			・フットポンプ(血栓予防) → 取り外します
			創部を観察、処置を 行います
	状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります(血圧自己測定も実施予定です)		
点滴・内服	持参薬、お薬手帳を看 護師にお渡しください		
	眠前下剤を服用します	手術室で点滴を開始 します (手術が午後の場合は、 病棟で点滴を開始します)	以下の点滴を行います
			・持続点滴 →
			・抗菌薬 →
行動・リハビリ	シャワー浴できます	以下の手術準備をします	午前中 全身清拭し、手術着 からパジャマに着替え ます
		・シャワー浴 ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し	
	制限はありません		翌朝までベッド 上 安静です
説明	医師・麻酔科医より説明(外来又は入院時)		医師より説明
	病棟・手術室・集中治療室看護師より説明		看護師より説明
	薬剤師より説明		

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日～ 月 日	月 日～	月 日
経過	術後 2 日目		術後 3～7 日目	術後 8 日目～
目標	○術後合併症（出血、感染）がない		○感染徴候（発熱や炎症反応の上昇）がない ○退院後の療養上の注意点について理解できる	
検査	 必要時以下の検査を行います ・採血 ・レントゲン撮影等		膀胱造影	
食事	 朝より常食			退院日は朝食のみ
				
処置・観察	以下の挿入物、装着物があります ・心電図モニター → 術後 2 日程度で取り外します ・点滴の管 → 点滴終了後抜去します ・背中チューブ（鎮痛剤）→ 術後 2～3 日で抜去します ・創部の管（ドレーン）→ 術後 2～3 日で抜去します ・尿道カテーテル → 術後 8 日目膀胱造影検査で、縫合部の尿漏れがないことを確認し抜去します			退院時にリストバンドを外します
	 創部を観察、処置を行います			
 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります（血圧自己測定も実施予定です）				
点滴・内服	 朝血栓予防薬皮下注射をします			
行動・リハビリ	 状況に合わせて、看護師が全身清拭、洗髪、足浴します		 創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開します（週 3 回、病棟毎で日が異なります）	
			 尿道カテーテル抜去後はトイレで排尿できます  尿量を自己測定します	
説明	 付き添いのもと、歩行リハビリを継続します		 朝食後退院です	
			 栄養士より説明 ・退院後の食事について ※説明日については栄養士と相談の上決定します（ご家族の受講希望があれば、日程調整します）	 看護師より説明 ・尿量自己測定と記載方法について

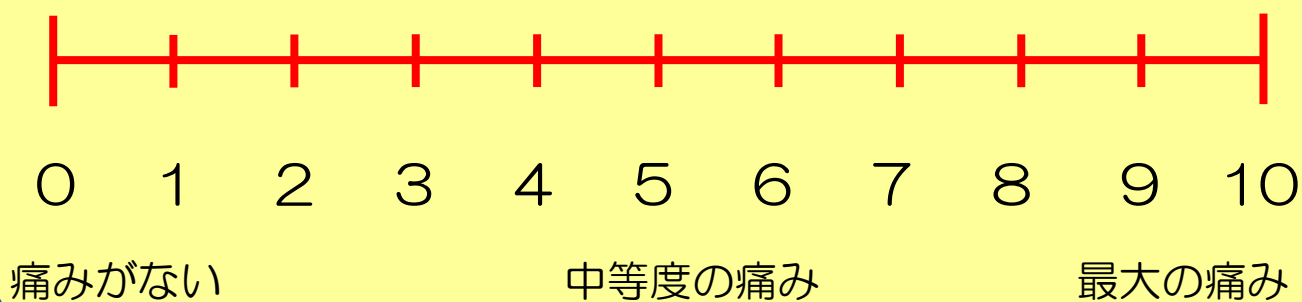
手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

👉 **手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください**

10 を最大の痛みとした場合
今の痛みはどのあたりですか



APS チームがサポートします。

よろしくをお願いします。

